脱施設化ガイドライン案への世界のコメント（2022年6月）　No.78

**モルドバン・エリザベータ**

**セバ・デ・スパス協会（Ceva de Spus Association　訳注　ルーマニアのコミュニティベースの障害者権利NGO）の支援による投稿**

<http://www.cevadespus.ro/en/>

Email: contact@cevadespus.ro

**2022年7月4日．**

**Written Submission**

**to the UN Committee on the Rights of Persons with Disabilities**

**on the Draft Guidelines on Deinstitutionalization,**

**including in emergencies**

Submitted by:

**Moldovan Elisabeta**

With the support of

Ceva de Spus Association

<http://www.cevadespus.ro/en/>

Email: contact@cevadespus.ro

4 July 2022

私は知的障害と診断された女性です。25年間施設で暮らしていました。2003年から地域で生活し、さまざまな施設的サービスを受け、その後2012年から独立して生活しています。

ガイドラインへの意見

- 「わかりやすい版」のルーマニア語訳に使われている単語が難しすぎます。

- 4ページの、権利に関する段落： 権利の定義がわかりにくいです。

- 16ページ：ルーマニアでは就職するために登録番号は必要ないが、就職のためのサポートは必要です。国によって名称が違ったり、事務手続きが違ったりする書類やサービスがたくさんあります。

- この文書で提供されている考え方や例は、明確で包括的なものです。

- 地域で提供される専門家やサービスは、施設で育った障害のある人のために、特別なサポートを提供する必要があります。施設でのトラウマに対処する必要があります。家族の中で育ち、地域の学校に通っていた障害のある大人は、施設で育った大人とは異なるサポートニーズを持っています。

（翻訳：佐藤久夫、岡本 明）